

環境調査結果のお知らせ

平成29年8月30日11時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は29.2~30.6℃で、前回調査時(H29.7.27)と比較して全層で0.5~1.6℃上昇していました。

塩分は14.4~32.9で、前回調査時と比較して表層で3.3低下し、1m層から底層で1.2~2.8上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は2.2~7.9mg/lで、前回調査時と比較して表層から1m層で0.4~0.8mg/l上昇し、2m層から底層で1.5~2.0mg/l減少しており、2m層から底層で貧酸素状態になっていました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.0mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.7.27)	
			差(今回-前回)
0m	29.6	29.1	0.5
1m	30.6	29.3	1.3
2m	29.6	28.2	1.4
B-1	29.2	27.6	1.6

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.7.27)	
			差(今回-前回)
0m	14.4	17.7	▲ 3.3
1m	24.5	21.7	2.8
2m	31.9	29.7	2.2
B-1	32.9	31.7	1.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H29.7.27)	
			差(今回-前回)
0m	7.9	7.1	0.8
1m	6.6	6.2	0.4
2m	3.3	5.3	▲ 2.0
B-1	2.2	3.7	▲ 1.5

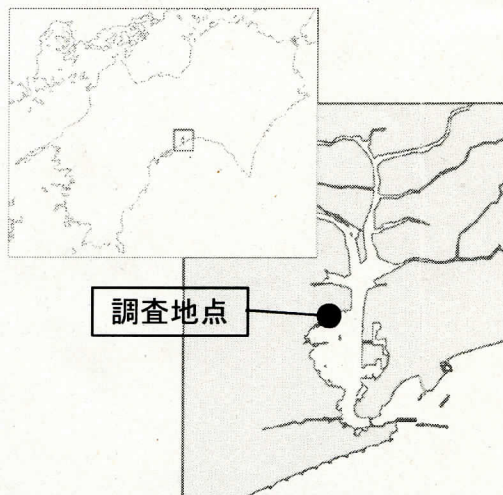


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.5	4.1
透明度	2.0	2.0

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロセントラム・トリエスティナム	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	2,000
1	0	0	0	0	1,200
2	0	0	0	2	800

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>